

めあて「あや先生の話聞いて、食事の課題やそのために行動することを決めよう」  
 <自分の食事の課題を見付け、その解決方法を考え実行しよう>

本時は、自分たちの体の健康に良い食事について、栄養教諭から専門的な話を聞いたりアドバイスもらったり、友達と課題の解決方法についてアドバイスをし合ったりする活動を通して、「たんぱく質」や「ビタミン」「よく噛むこと」等の大切さを理解するとともに、自分の食生活の課題に合った解決方法を意思決定する学習であった。



児童は、食事や体についての既習内容、本時まで準備していた「食事(栄養バランス)調査シート」、栄養教諭からの話(たんぱく質・ビタミン・炭水化物)を情報として自分の行動目標を具体的に考えていた。実際に牛乳にたんぱく質が入っているのか実験映像で確認したり、ご飯を食べて咀嚼し何回くらい噛むと甘く感じるのか確かめたりした上で、友達と食に関して困っていることを相談したりアドバイスしたりすることで自分の解決したい課題を明らかにしていった。



指導・講評では、文部科学省初等中等教育課程課の和久井調査官から、「担任と栄養教諭の役割分担が素晴らしかった。このような内容の授業で栄養教諭ばかりが話してしまいがち。ぜひ、参加者の皆さんには参考にしてほしい。」や「情報量が多すぎると、児童が行動目標を立てる際に、栄養教諭から学んだことと結びつけることが難しくなるため内容をしぼりたい。そして、発表して共有する時間ももう少し確保したかった。」等のご指導をいただきました。



ちくわが食べられんのかなやけどどうしたらいい?

マヨネーズつけたら美味しいよ

何かとミックスしたら?

でもさ、ミックスして、栄養のバランスが悪くなるとかないの?